国土交通省
近畿地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism. Kinki Regional Development Bureau
Press release

令和７年４月２３日１１時００分
近　畿　地　方　整　備　局
紀　南　河　川　国　道　事　務　所

一般国道42号すさみ串本道路
事業工程会議（第3回）の開催結果について

○一般国道42号すさみ串本道路（延長19．2km）における事業進捗上の課題について、令和6年7月以降、これまで2回にわたり事業工程会議を開催し、関係者間で情報共有を図ってきたところです。本日、「事業工程会議（第3回）」を開催し、課題への対応状況と今後の見通しについて関係者間で下記の内容について情報共有を図りました。

➢小河瀬谷川橋（仮称）について、地盤のひび割れをふまえ、A1橋台の工事を中断。地盤調査の結果、直接基礎から杭基礎（深礎杭）へ構造変更が必要となり、前回の事業工程会議以降、修正設計を実施。

➢杭基礎（深礎杭）の修正設計が完了し、基礎形状が決定。

➢開通までにはまだ期間を要するが、開通前の段階において、南海トラフ地震などの災害時における住民の避難路、緊急車両の交通路としての活用など、地域の防災機能を強化。

○これにより、<u>すさみ串本道路の開通時期は令和9年夏の見通し</u>であり、１日でも早く開通できるよう、引き続き工程短縮に努めてまいります。

■開通時期の見直し

＜現在＞		＜見直し後＞
工程精査中	⇨	**令和９年夏開通予定**

＜取　扱　い＞　――――――――

＜配　布　場　所＞
近畿建設記者クラブ
和歌山県政記者クラブ
和歌山県地方新聞記者クラブ
新宮中央記者会
大手前記者クラブ
和歌山県政放送記者クラブ
田辺記者クラブ
新宮記者クラブ

＜問　合　せ　先＞　国土交通省　近畿地方整備局　紀南河川国道事務所
副所長　中村　恭介（なかむら　きょうすけ）
事業対策官　滋野　勝稔（しげの　かつとし）
TEL 0739－22－4564（代表）

一般国道42号すさみ串本道路事業工程会議(第3回)の結果

【一般国道４２号すさみ串本（くしもと）道路事業工程会議（第３回）】

（日時）令和７年４月２３日（水）９時３０分～

（場所）和歌山河川国道事務所　５階会議室

（関係機関）

近畿地方整備局　道路部、近畿地方整備局　紀南河川国道事務所

和歌山県　県土整備部、すさみ町　建設課、串本町　建設課

（議事）

一般国道４２号すさみ串本道路の工事進捗に伴う課題と対応等

（会議資料）

別添

（議事概要）

・一般国道４２号すさみ串本道路は、全線にわたって改良・橋梁・トンネル及び舗装工事を推進している状況。

・小河瀬谷川橋について、地盤のひび割れをふまえ、A1橋台の工事を中断。地盤調査の結果、直接基礎から杭基礎（深礎杭）へ構造変更が必要となり、前回の事業工程会議以降、修正設計を実施。

・杭基礎（深礎杭）の修正設計が完了し、基礎形状が決定。

・事業工程を精査した結果、令和９年夏開通の見通しであり、１日でも早く開通できるよう、引き続き工程短縮に努める。

・開通までにはまだ期間を要するが、開通前の段階において、南海トラフ地震などの災害時における住民の避難路、緊急車両の交通路としての活用など、地域の防災機能を強化。

一般国道４２号すさみ串本道路
事業工程会議（第３回）

日　時：令和７年４月２３日（水）９時３０分～
場　所：和歌山河川国道事務所　５階会議室

議　事　次　第

１．開　会

２．議　事

・一般国道４２号すさみ串本道路の工事進捗に伴う課題と対応等

３．閉　会

一般国道４２号すさみ串本道路

事業工程会議（第３回）

出席者名簿

〔敬称略〕

和歌山県	県土整備部長	福本　仁志
すさみ町	建設課長	岡　　弘貴
串本町	建設課長	堀口　　純
近畿地方整備局	道路部長	田中　倫英
	紀南河川国道事務所長	田中　雄三

資料

一般国道４２号すさみ串本道路
事業工程会議
（第３回）

令和７年４月２３日
近畿地方整備局

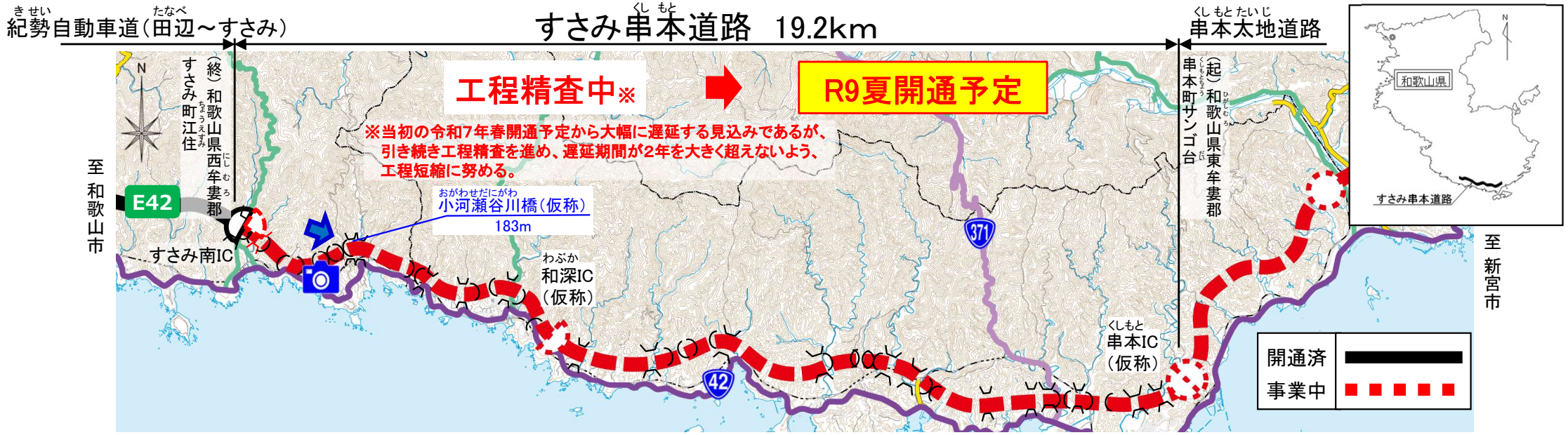
近畿自動車道紀勢線

近畿自動車道紀勢線　延長335km

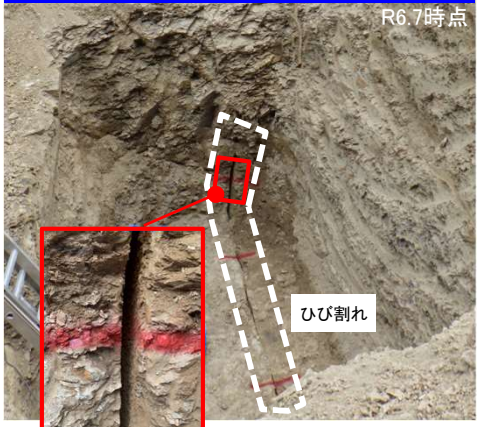
※当初の令和７年春開通予定から大幅に遅延する見込みであるが、
引き続き工程精査を進め、遅延期間が２年を大きく超えないよう、工程短縮に努める。

すさみ串本道路　課題箇所の状況について

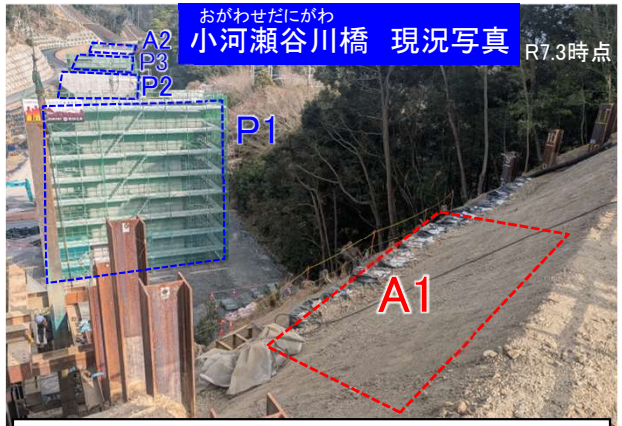
○小河瀬谷川橋について、地盤のひび割れをふまえ、A1橋台の工事を中断。地盤調査の結果、直接基礎から杭基礎（深礎杭）へ構造変更が必要となり、前回の事業工程会議以降、修正設計を実施。
○杭基礎（深礎杭）の修正設計が完了し、基礎形状が決定。
○事業工程を精査した結果、令和9年夏開通の見通し。
○開通までにはまだ期間を要するが、開通前の段階において、南海トラフ地震などの災害時における住民の避難路、緊急車両の交通路としての活用など、地域の防災機能を強化。（避難路・緊急車両の通行可能区間は、紀南河川国道事務所HPで定期的にお知らせ）



小河瀬谷川橋　ひび割れ状況写真

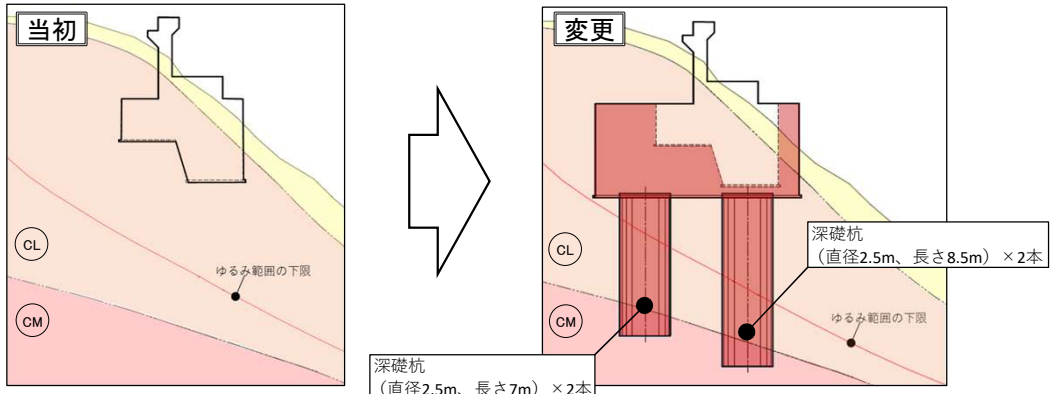


小河瀬谷川橋　現況写真



・A1橋台掘削中、地盤のひび割れを発見し、A1橋台の工事を中断
・地盤調査（ボーリング調査）を実施のうえ対策 工法を検討した結果、直接基礎から杭基礎（深礎杭）へ構造変更。今般、修正設計が完了
・工事を再開し、現在、仮設土留めを施工中

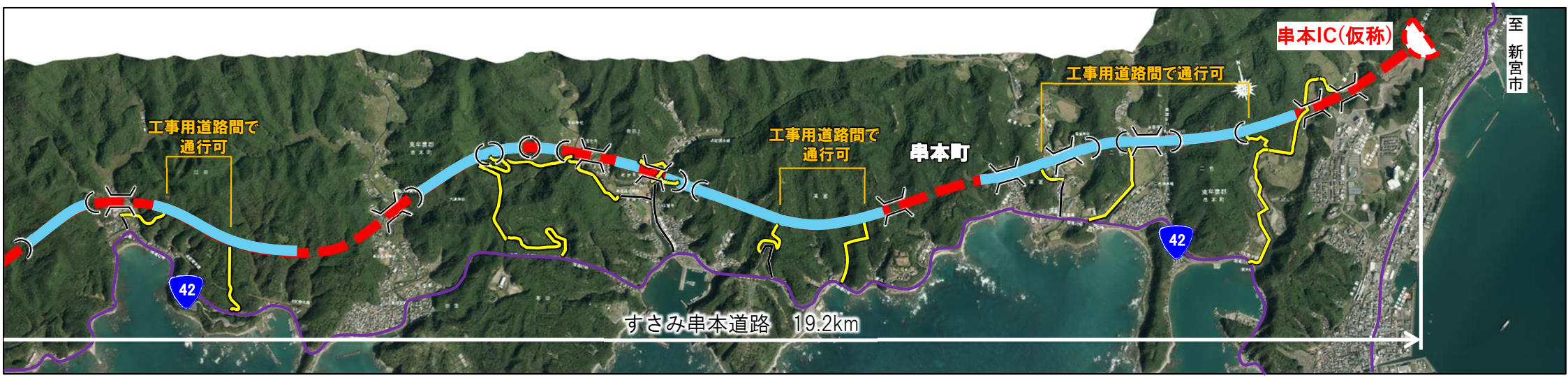
A1橋台修正設計が完了



すさみ串本道路　開通前の段階における災害時の活用案について

○住民の避難路や緊急車両の交通路として活用することで、開通前の段階より地域の防災機能を強化。
- ➢現段階において、南海トラフによる津波浸水などの災害が発生した場合、工事用道路などを活用し、住民が高台や本線へ避難可能。
- ➢今後の工事進捗に伴い、本線概成区間と工事用道路を活用し、現道の浸水区間を回避し、緊急車両の到達可能範囲が順次拡大。

■避難路位置図(R7.3現在)



詳細説明内容

前回の事業工程会議（第2回）の結果について（R6.11.28）

国土交通省

○安指川橋（仮称）P1橋脚について、硬質岩への対応に通常の約４倍の施工時間を要したところ。

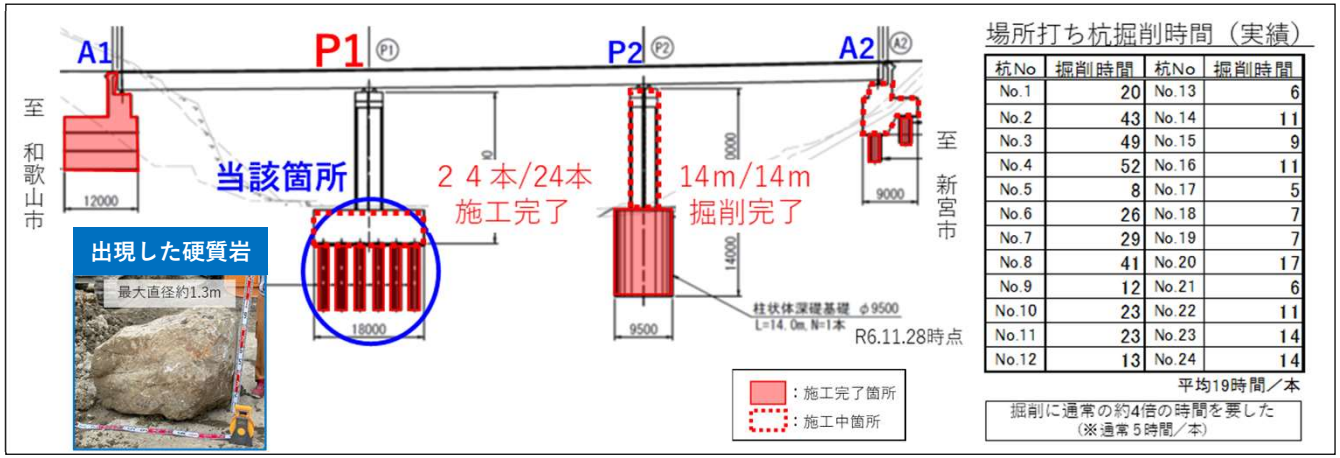
○小河瀬谷川橋（仮称）について、地盤のひび割れを発見しA1橋台の工事を中断。地盤調査を実施のうえ対策工法について有識者の意見もふまえ検討した結果、直接基礎から杭基礎（深礎杭）へ構造変更が必要。

○このような課題への対応について、修正設計や追加の基礎工事のみでも１年以上を要し、その後、橋梁本体工事や舗装工事が必要。そのような状況であるため、開通時期については、当初予定していた令和７年春から大幅に遅延する見込みであるが、引き続き工程精査を進めるとともに、遅延期間が２年を大きく超えないよう、工程短縮に努める。

○開通までに期間を要することから、開通前の段階においても、南海トラフ地震など災害時における緊急輸送道路としての活用など、地域のための防災機能の強化が図られるよう努める。

■位置図

■安指川橋



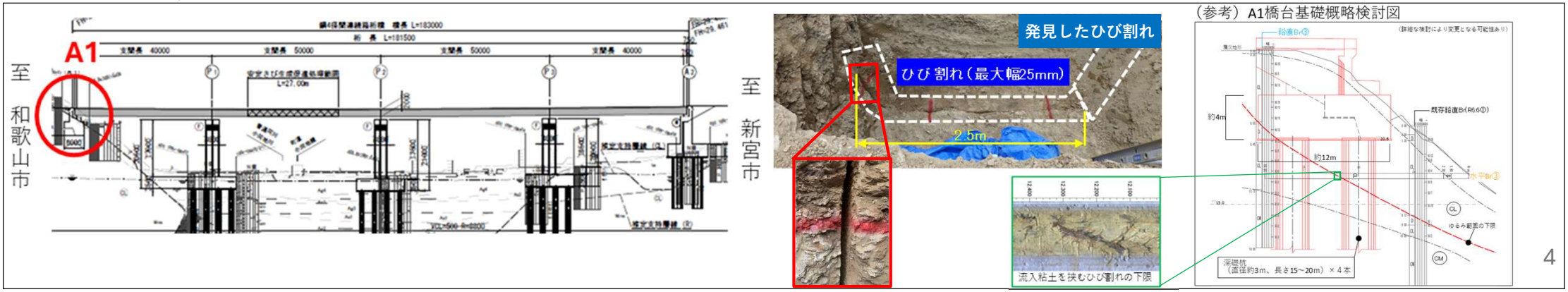
場所打ち杭掘削時間（実績）

杭No	掘削時間	杭No	掘削時間
No.1	20	No.13	6
No.2	43	No.14	11
No.3	49	No.15	9
No.4	52	No.16	11
No.5	8	No.17	5
No.6	26	No.18	7
No.7	29	No.19	7
No.8	41	No.20	17
No.9	12	No.21	6
No.10	23	No.22	11
No.11	23	No.23	14
No.12	13	No.24	14

平均19時間／本

掘削に通常の約4倍の時間を要した
（※通常５時間／本）

■小河瀬谷川橋



事業概要

国土交通省

○一般国道42号すさみ串本道路は、紀伊半島を一周する高規格道路 近畿自動車道松原那智勝浦線の一部を構成し、南海トラフ地震等の災害時の交通確保、救急医療活動の支援及び広域周遊観光の支援を目的として、平成26年度に事業化した延長19.2kmの道路。

工事の進捗状況

国土交通省

○全線にわたって改良工事、橋梁工事、トンネル工事、舗装工事を推進中。

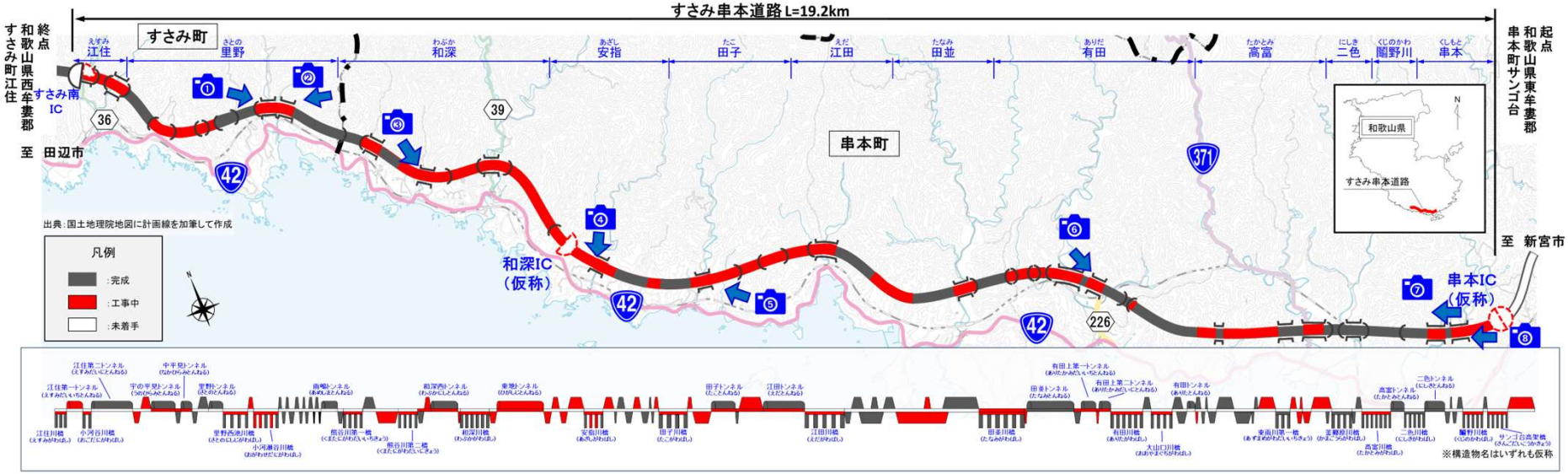
【すさみ串本道路工事進捗状況】 令和7年3月31日時点

①すさみ町里野（里野西池川橋）

② すさみ町里野（小河瀬谷川橋）

③串本町和深（熊谷川第二橋）

④串本町和深（安指川橋）



⑤串本町田子（田子川橋）

⑥串本町有田（大山口川橋）

⑦串本町闘野川（闘野川橋）

⑧串本町サンゴ台（サンゴ台高架橋）

工事進捗に伴う課題と対応＜小河瀬谷川橋＞

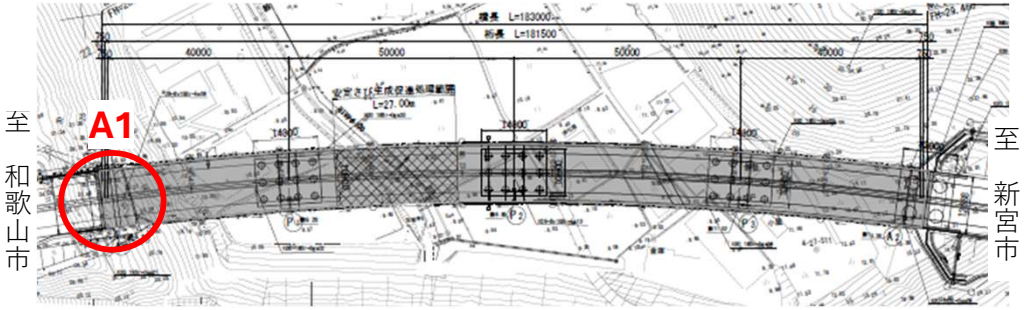
■橋梁下部工事
○工事名：すさみ串本道路小河瀬谷川橋Ｐ１他下部他工事
○工事内容：橋台工：２基、RC橋脚工：３基

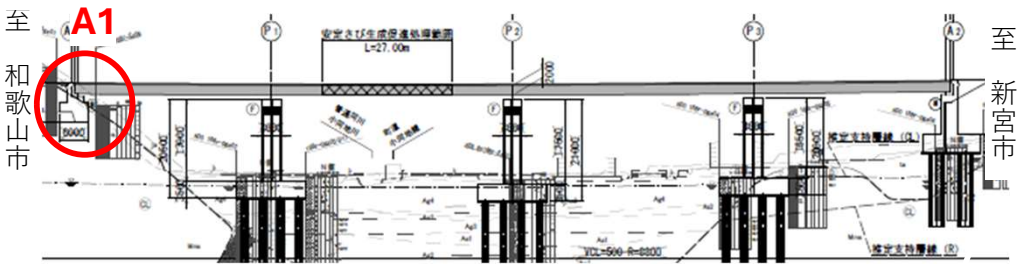
■橋梁上部工事
○工事名：すさみ串本道路小河瀬谷川橋上部工事
○工事内容：上部工【鋼４径間連続箱桁橋 L=183m（最大支間長50m）】

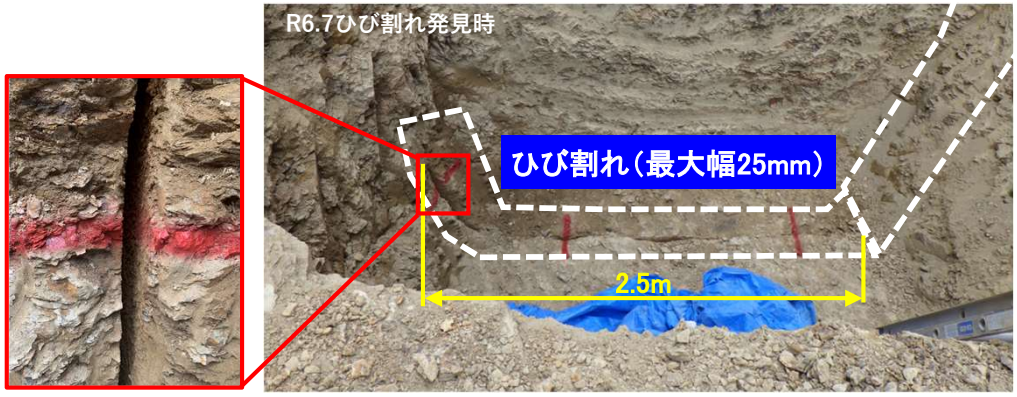
工事進捗に伴う課題と対応＜小河瀬谷川橋（おがわせだにがわばし）＞

国土交通省

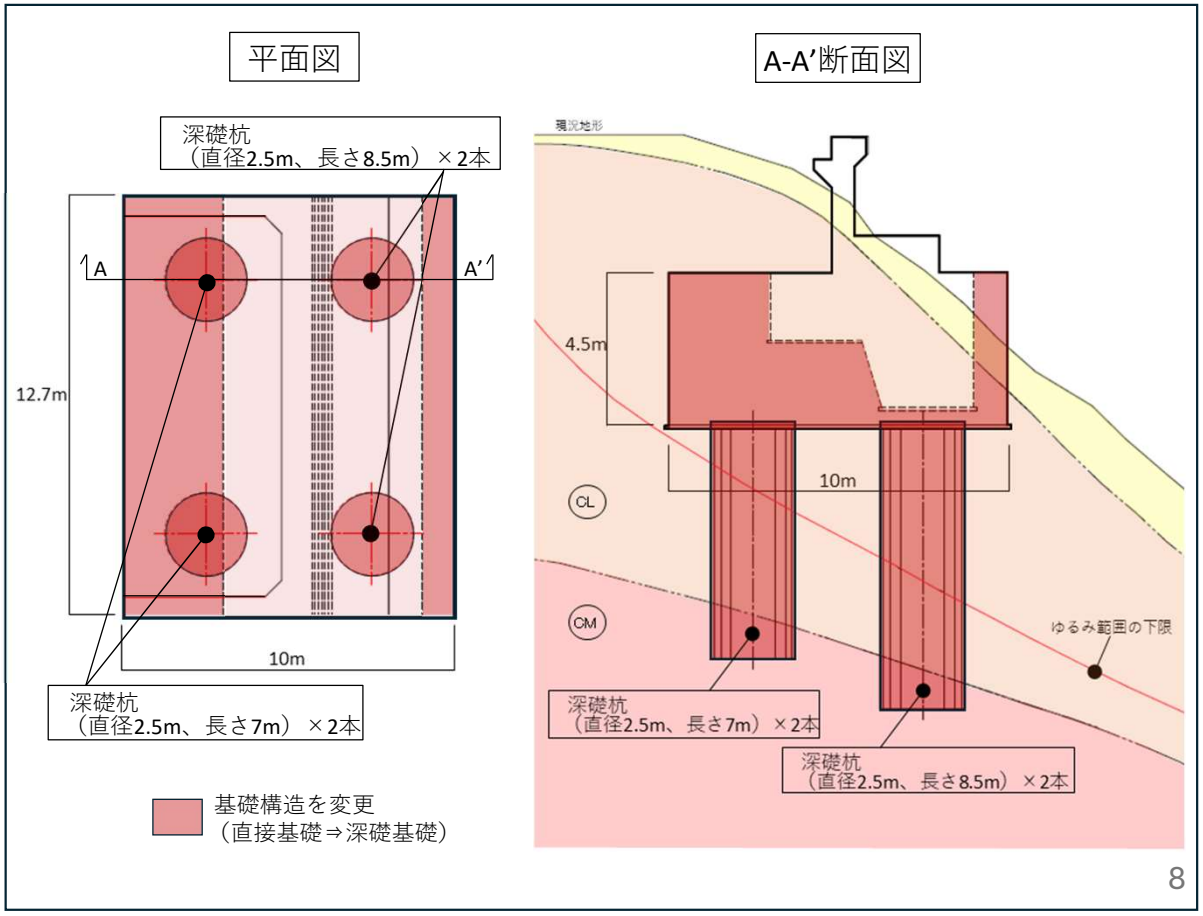
○A１橋台基礎掘削中に地盤のひび割れを発見（R6.7.9）。
○作業を中断し、有識者による現地調査の結果、「A1橋台の工事継続は不可。地盤調査のうえ対策の検討が必要」との意見（R6.7.10）。
○地盤の亀裂の状況からゆるみ範囲を特定。ゆるみ範囲より下の地盤を支持層とし、杭基礎（深礎杭）へ変更し、修正設計を進めることについて有識者検討会で確認（R6.11.20）。
○修正設計が完了し工程を精査した結果、A1橋台の完成はR8年春の見込み。その後、上部工、舗装などを実施し小河瀬谷川橋の完成はR9年夏の見込み。
○現在A1橋台は工事を再開し、仮設土留めを施工中。







A1橋台基礎構造（修正設計）



開通時期について

国土交通省

- 一般国道42号すさみ串本道路は、全線にわたって改良・橋梁・トンネル及び舗装工事を推進している状況。
- 小河瀬谷川橋について、地盤のひび割れをふまえ、A1橋台の工事を中断。地盤調査の結果、直接基礎から杭基礎（深礎杭）へ構造変更が必要となり、前回の事業工程会議以降、修正設計を実施。
- 杭基礎（深礎杭）の修正設計が完了し、基礎形状が決定。
- 事業工程を精査した結果、令和９年夏開通の見通しであり、１日でも早く開通できるよう、引き続き工程短縮に努める。
- 開通までにはまだ期間を要するが、開通前の段階において、南海トラフ地震などの災害時における住民の避難路、緊急車両の交通路としての活用など、地域の防災機能を強化。

（参考）開通前の段階における災害時の活用案

国土交通省

○住民の避難路や緊急車両の交通路として活用することで、開通前の段階より地域の防災機能を強化。
- ➢現段階において、南海トラフによる津波浸水などの災害が発生した場合、工事用道路や法面点検階段などを活用し、住民が高台や本線へ避難可能。
- ➢今後の工事進捗に伴い、本線概成区間と工事用道路を活用し、現道の浸水区間を回避し、緊急車両の到達可能範囲が順次拡大。

（※地元の意向を踏まえ、開通後も工事用道路の一部を存置し、避難路として活用）

■避難路位置図(R7.3現在)

（参考）工事進捗に伴う課題と対応＜安指川橋＞

国土交通省

■橋梁下部工事
○工事名：すさみ串本道路和深IC工事
○工事内容：橋台工：１基、RC橋脚工：２基

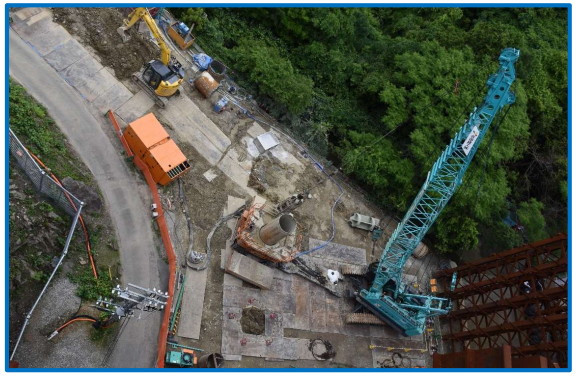
■橋梁上部工事
○工事名：すさみ串本道路安指川橋上部工事
○工事内容：上部工【PC３径間連結コンポ桁橋 L=127m （最大支間長43m）】

（参考）工事進捗に伴う課題と対応＜安指川橋（あざしがわばし）＞

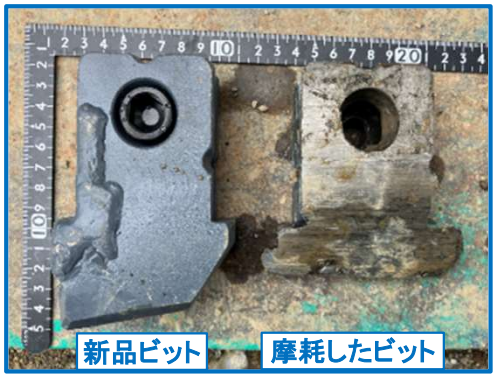
国土交通省

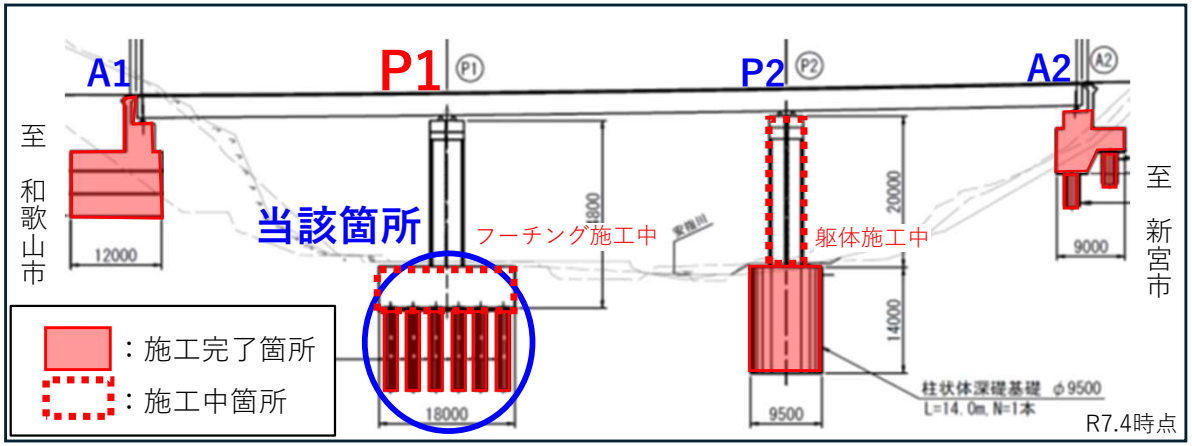
○安指川橋（あざしがわばし）（仮称）P1橋脚の場所打ち杭施工において、通常の掘削機では対応できない硬質岩が多数出現し、掘削機械の大型化等の対策を講じたものの、通常より平均約４倍（約１ヶ月→約４ヶ月）の施工時間を要した。

P1橋脚施工時の状況（場所打ち杭）



硬質岩によりビットが損耗し掘削難航





場所打ち杭掘削時間（実績）

杭No	掘削時間	杭No	掘削時間
No.1	20	No.13	6
No.2	43	No.14	11
No.3	49	No.15	9
No.4	52	No.16	11
No.5	8	No.17	5
No.6	26	No.18	7
No.7	29	No.19	7
No.8	41	No.20	17
No.9	12	No.21	6
No.10	23	No.22	11
No.11	23	No.23	14
No.12	13	No.24	14

平均19時間／本

掘削に通常の約4倍の時間を要した
（※通常５時間／本）

出現した硬質岩

（参考）工事進捗に伴う課題と対応＜安指川橋（あざしがわばし）＞

国土交通省

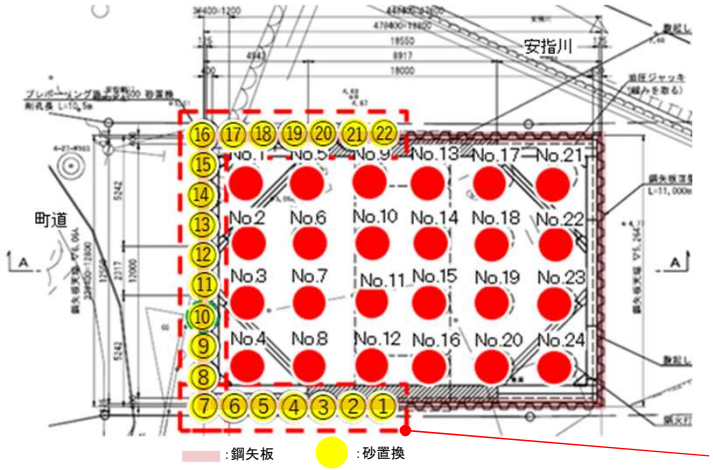
○概ねNo1～No.8周辺が硬質岩の影響により、フーチング掘削時の土留め鋼矢板施工は当初想定のバイブロハンマでは対応不可のため、先行掘削として、オールケーシング（Φ2000）による砂置換の対策を実施し、約２カ月を要した。

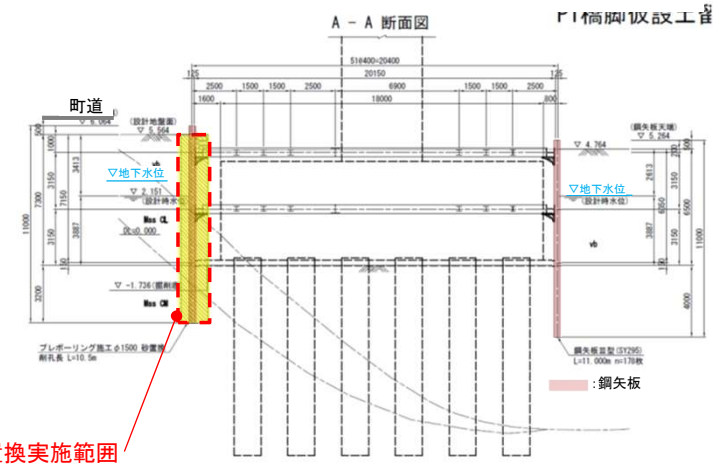
○土留め鋼矢板の打設後、昨年１１月下旬より床堀を開始。

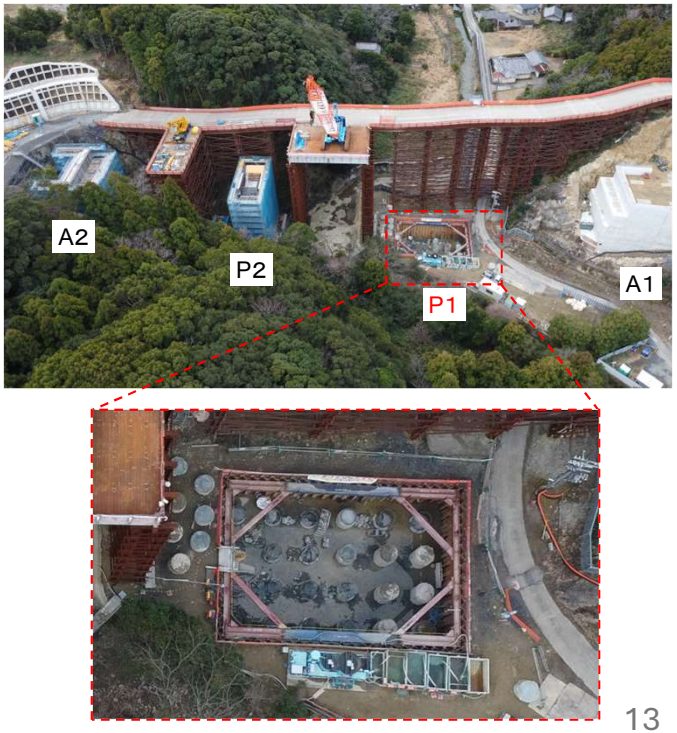
○現在、床堀は完了し、基礎部（フーチング）を施工中。

○これらの硬質岩への対応に追加で計５カ月を要し、さらに作業時間の見直しや人員確保が想定外に難航するなどの影響により、安指川橋の完成はＲ８夏頃の見込み。

【フーチング床掘時の土留め鋼矢板】





砂置換施工時にも硬質岩が出現

下部工施工状況（R7.3末現在）